

～TANKYU～

谷地南部小学校
校内研究だより
2023. 5. 1
No.7 文責 伊藤

空き時間ができて

4月28日3校時目。私は浦山先生に4年理科を持っていただいているので、空き時間に各教室を回って勉強させていただいていました。

教頭先生の師範授業。書写の時間で、文字を「書く」時の心構えのほかに授業に取り組むときの心構えやルールのようなこととお話ししているようでした。プリントを渡すときは「はい、どうぞ」「ありがとう」。やることが終わったら、先生に教える。教え方は、黙って待つ。間や声の強弱などを使った惹きつけ方が、とても勉強になります。

4年生の理科。理科室でヘチマの種の観察をしていました。虫眼鏡を使ってよく観察し、ワークシートにスケッチをしているようでした。ポイントは「よく見る」こと。先日の授業参観で私が子ども達に伝えたことと同じでした。

5年生は国語。授業に集中して取り組めず、他のことに夢中なY君。他の児童と一緒に授業を進めていた先生の声色が変わりました。

「集中していなくて自分が勉強をわからなくなるのは、自分の責任だから目を瞑ります。だけど、それで周りの人に迷惑をかけたり悲しい思いをさせたりするのだったら、先生は許しません。納得してもらえますか。」

該当児童は、先生の話を受け入れてくれたようでした。集団で学ぶ上でのマナーですね。

6年生の算数は「線対称と点対称」の学習です。自分で学び方を選択している子ども達ですが、先生が個別に支援して回っている姿が見られ、私に足りない部分だと感じます。そのため、子ども達は成果物を先生に見せに来たり、分からないところを聞きに来たりしていて、子ども達との良い関係が築かれていると感じました。素敵なうらやましい姿です。

時間の関係で全ての学年ではなかったのですが、今回授業を見させていただいて、私は嬉しくなりました。それは、「私自身が目指している姿ややりたいこと、軸としたいことが間違っていなかった」ということです。現時点で出来ていないこともあります。すがすがしい先生方と同じ視点で取り組んでいることを知れて、とても自信になった一日でした。